

定時総会 平成25年6月1日(土)

於：ホテルグリーンタワー幕張

## INDEX

定時総会	1～2
臼井先生連載	2
会員企業訪問 (株)PLUS-Y	3
委員会報告	4
会員異動/スケジュール	4



### 咲かせよう！月星会に「笑顔の花」を！

去る6月1日(土)平成25年度月星会定時総会が、ホテルグリーンタワー幕張にて開催された。

1部、2部の司会は尾形研修委員長。会員の過半数を上回る総勢61名の参加があった。多くの会員から「久しぶり」「元気？」と久々の再会に喜びの声が聞かれた。

まず、穴倉会長の挨拶では1年間の御礼を「感謝・感謝」の言葉で締めくくられ、会初の女性会長としての任期を全うされた。

議長は司会者一任のもと、吉田光一さんが選出され、議事録署名人は大浦義信さんが選出された。

議事に入り、第1号議案・平成24年度活動報告、第2号議案平成24年度会計報告を木下幹事長が、監査報告を穂刈監査役がそれぞれ報告し承認された。

第3号議案・平成25年度活動方針、第4号議案・平成25年度予算案、第5号議案・役員及び委員会構成案を産方会長より発表、こちらも会員の拍手のもと承認された。

最後に木下幹事長の閉会のことばで無事第1部の定時総会は終了した。

引き続き第2部では「日本！今変革の刻」と題して、恒例の臼井先生による特別講演を聴聞させて頂いた。中国の強大な軍力のもと、尖閣列島を始め緊張した領土問題について、「第一列島線」「第二列島線」の地図を用いて熱く語って頂いた。

近年、臼井先生が取り上げるテーマはこの問題にまつわる



特別講演「日本！今変革の刻」



穴倉前会長による開会



事が多く、それだけ注視して情勢を見守り続けているのだろうと思われる。

講演後、穴倉会長より臼井先生に花束が贈られ第2部は終了した。その後写真室へ移り恒例の記念撮影の後、20階・スカイバンケットルームへ移動。第3部の役員任命式と懇親会が行われた。司会は総会終了後ホッとするとする間もなく川名事務局長が務めた。

新役員任命式では臼井先生から産方新会長へ認証状が授与され、その後産方新会長から各役員へと任命証が授与された。

産方新会長は「自分みたいなもので良いのか今でも思っている」との旨で緊張した面持ちで挨拶をされた。新会長も含め、新体制は若手を揃え非常に楽しみなメンバーだ。

懇親会に入るといつもの月星会らしくあちらこちらで笑い声が絶えない楽しい時間となった。

中締めは高柳副会長が挨拶され、若手の多い新執行部の中で存在感を示された。産方新会長の人柄が表れた非常にバランスのとれた新役員メンバーに期待を持って総会の記事を締めくくる。(幹事長 木下英之)



臼井先生と産方新会長



高柳副会長による中締め

連載

うすい日出男の  
〈こくせいふかん〉の目

— 参議院選挙を終えて思うこと —

“アベノミクス推進”の信任状

今回の参議院議員選挙で千葉県は、なんと45年振りに2議席を獲得することとなった。勿論、政治歴27年の私も経験のない正に驚きの投票結果だった。この千葉県の結果は全国的な流れで、自民党は比例18名当選を含めて、65名という当選をはたし、当初の目標のねじれ解消、安定多数を得ることができた。

この結果は、有権者がいわゆる“アベノミクス”の経済対策をはじめとする政策に対し、イエスの答えをくれたものだと思う。その意味では、安倍政権もいよいよ正念場だ。まず、ようやく明るさが見えてきた我が国経済再生を確かにするために具体的政策を実行して、渾身の努力をすることが必要だ。

自らの正しいと信ずる“道”を！

私が安倍総理に期待するのは、ブレない強い意志による実行力だ。今参議院選挙中であっても、国民の厳しい批判の中、「原発再起動政策」を曲げなかったし、「靖国神社問題」も、中国や韓国の厳しい批判の中でも自説である“我が国のために倒れた先人に対する畏敬の念を表することは当然で大切なこと…”「閣僚は独自の判断で対処して欲しい」と、一歩も引かなかった。「中国、韓国関係の悪化は、経済にマイナスだから。…」と警告する向きもあるが、こうした内政干渉的な中国や韓国の態度

は、過去に我が国の政治家が、中国や韓国の不法な横車に対し、その都度、弱腰に、相手を刺激しないようにと、自説を曲げて譲歩してきたことに原因がある。安倍総理には、是非とも正しいと信ずる“道”をしっかりと進んで欲しい。



憲法改正をあきらめない！

政府与党の政策遂行にねじれ解消は必要だが、私が今回の参議院選挙で期待したのは“改憲勢力の結集の第一歩”とすることだった。即ち「憲法第96条の先行改正」と、「憲法9条の改正による自衛隊を国防軍とする改正問題」だが残念ながら今回の参院選挙では改憲勢力は142議席にしか達せず、発議に必要な2/3議席である162議席には、まだ19議席不足している結果となった。

このことは、投票前から予測していたことで、維新の橋下代表の失言による支持の急落と維新、みんなの党の選挙協力の白紙化で予想されたことではあった。以前からお話しているように、兎に角、改憲発議のために必要な162議席に出来得る限り近づけておくことが大切で、民主党内の改憲グループの存在を考えると、近い将来改憲のチャンスが必ず訪れると信じている。

ただ憲法改正には、当然のことだが、両院の議決に加えて国民投票による決着が必要なので、十分に議論を尽くし進むことが必要だ。安倍総理に期待して止まない。

元衆議院議員 臼井日出男

## 第14回 PLUS-Y (プラスワイ)

### 自然体の起業、自然体の前進

女性の声を地元企業へ！  
地域マーケティングで躍進始まる

プラスワイの代表・永田洋子さんと話をしたあと、しばらく頭から離れなかった言葉がある。

「世の中的に私に何を求めているのか、それを考えながらやるべきビジネスを絞り込んでいきました」

何が儲かるか、ではない。何ができるか、でもない。世の中が自分に何を求めているかという発想。これはすべての事業の、かつ個々人が今行っているすべての仕事の原点だと私は思うのである。

多くの経営者やビジネスパーソンが信奉するドラッカーの膨大な著作も、この言葉に集約されるといっても過言ではない。

永田さんはこの言葉を、奇をてらうわけでもなく、自分を主張するわけでもなく、ごく自然に、素直に口にした。

「社会の役に立つ」「社会に貢献する」という言葉はよく聞く。経営理念にもよく謳われている。永田さんの言葉は、少し違う。いや、だいぶ違う。どこが違うかといえば、社会が基点になっている点である。

### 起業までの紆余曲折

永田さんは、長野県は須坂の出身である。「東京や千葉とは夜空の星が全然違う」と言う。だからといって、都会の生活に馴染めないわけではない。

地元の高校を卒業すると、ただちにアメリカ留学。1年後に戻って長野にあったキャラクターグッズの会社に就職。全国100カ所に店舗があり、実績をあげれば、男女関係なくぐんぐん昇給昇進できる会社だった。

営業の才覚があったのか、販売実績が群を抜き、20代後半で役員手前の位置まで役職が上がった。

が、入社10年目で転機が訪れる。会社の業績がやや低調になったところでコンサルタント会社が入り、データとマネジメント理論で運営するしくみに社内が変わった。

現場叩き上げの永田さんには抵抗があったが、コンサルタントに理屈で言い返すことができず、勉強の必要性を実感。ついに会社を辞めて、立命館大学に社会人枠で入学。経営学部のサービス・マネジメントを専攻した。さらに、4年間のところを3年の飛び級で大学院に進学。

「モノを売ってきた経験が長かったので、ほかの学生と違って実践を思い浮かべながら理解できました」

学びながら税理士事務所にも勤め、簿記を修得した。このとき、すでに現在の夫と結婚もしているが、転勤のある会社員だったので、別居期間のほうが圧倒的に長い。現在も夫は盛岡、永田さんは千葉と、長距離別居だ。

千葉に来たきっかけも、夫の転勤。永田さんはそのタイミングで京都の立命館大学に入学したのだが、修士課程を修了

したあとは千葉市中央区で一緒に住み、今度は東京のマーケティング専門のコンサルタント会社に就職。

ここでマーケティングを実践的に学べたことが現在の事業の下地になっている。

コンサルタント会社の仕事は興味深く、長く続けるつもりだったが、父親の急病で一時、須坂に戻り、この会社はやむなく退職。父親の病気は1年ほどで快復し、千葉に戻ったものの専業主婦状態に満足するような人ではない。

そこで決意したのが、自らの起業だった。

### コミュニティビジネスの旗手として

「お金は全然なかったのですが、起業のハードルはそれほど高くない。誰でもできると思って……」

2008年12月に、マーケティング会社・プラスワイを設立。本社は千葉市中央区、資本金の200万円は夫などから調達して間に合わせた。

問題は何をやるかである。名刺に「マーケティングコンサルタント」と刷り込んだが、東京のコンサルタント会社で働いていたぐらいの実績では、コンサルティングを依頼する会社はない。

箔を付けるために行ったのが様々なビジネスプランコンテストへの応募だった。その一つ、千葉市のコンテストで永田さんのプランが評価され、千葉市長から「コミュニティビジネス・モデルプラン」の認定を受けた。起業から9カ月目、2009年8月のことである。

認定証に書かれている事業名は「地元女性消費者のネットワークを活用した地域密着型マーケティング支援ビジネス」。なぜ、ここに事業プランを絞ったのかという質問に即座に答えてくれたのが、冒頭の言葉である。そして、こう続けた。

「女性としての意見を求められることが多く、これが世の中的に私に求めていることか、と。で、女性の声を地元企業に届けるマーケティングに特化したというわけです」

「まなふさ」というサイトで20歳以上の女性会員を募り（登録無料）、この会員をベースに、アンケート調査やモニター調査を行なう。

会員は現在1000名だが、数の問題よりも中身の濃さがありそうだ。だからこそ、プラスワイに調査委託する会社がじわじわと増えている。

お料理教室などのイベントを頻繁に開催し、フェイス・ツウ・フェイスでの会員増強努力も続けている。

今年から、千葉市産業振興財団から委託を受けて千葉市ビジネス支援センター中央分館の運営も任されている。

オリジナリティ豊かな永田さんの起業は、これからが楽しみだ。地元の活性化にぜひ力を尽くしてもらいたいと思わずにいられない。

(取材・文/奥平。次回企業、募集中)



運営を受託している  
千葉市ビジネス支援  
センター中央分館

## 例会委員会

夕食例会

於：鯨割烹みどり

今年は、毎月第4火曜日に、受付開始17:50分、食事は18:00から、例会を18:30から開催と時間を30分繰上げ、スタートしました。会場は、鯨割烹みどりでです。

平成25年6月25日(火)第1回例会の卓和は千葉市選挙管理委員会 鈴木浩事務局長様による「解禁ネット選挙運動」について、お話しを頂きました。その後、平成25年7月21日、参議院議員選挙がありました。皆様は今回ネット選挙運動について如何でしたか?

平成25年7月16日第2回例会の卓和は千葉県防災危機管理部 岩崎斉次長様・浅尾一巳博士様による「千葉県の防災」について、お話しを頂きました。3.11の千葉県での被害を改めて思いだしました。また、これから起こりうる災害の対応について勉強しました。毎月色々な方による卓和を考えておりますので、よろしくお願いたします。(例会委員長 土屋文武)



千葉市選挙管理委員会  
鈴木浩事務局長

6月生まれの長谷川さん



7月生まれの阿佐さん・山口さん・土屋さん

千葉県防災危機管理部  
岩崎次長・浅尾博士

「今年の親睦旅行は、世界遺産に登録された富士山の湧水とお酒で喉を潤し、遠くからはパノラマで、又、近くは目の前にドーンと富士を楽しめる、まさに「松坂慶子風」富士三昧の企画です。…これも富士…あれも富士…きっと富士…」

親睦委員会 御園

## 会員異動 退会

伊藤嘉國氏

理由私事

## 月星会親睦野球観戦

納涼会 ナイター観戦

於：QVCマリスタジアム

7月15日海の日の午後5時~プロ野球ロッテマリーンズ対ソフトバンクフォークスの試合をQVCマリスタジアムにて観戦しました。



参加者は20名で会

員のご家族、友人、知人の皆様お集まり頂きました。当日の昼は大変な暑さでしたが夕方からは涼しい風となり球場で飲むビールも大変おいしく。飲むほどに応援の声が大きくなり日ごろのストレスも解消!

試合は残念ながらマリーンズの負けでしたが楽しい時を皆さんと過ごす事ができました。

次の親睦委員会の行事は9月7日(土)~8日(日)の親睦旅行です。まだまだ暑い気候ですが景色のすばらしい東伊豆を予定しておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

(親睦委員長 吉田 光一)



## 8・9・10月のスケジュール

8/14(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
8/27(火)	定例夕食会	18:30開会 参加費 3,000円	会場：鯨割烹みどり 卓話 千葉県がんセンター病院長 中川原 章氏 「自宅でおいしく食べてがん闘う」
9/7(土) 9/8(日)	研修親睦旅行	「世界文化遺産に登録された 富士山を堪能する旅」 行先 中伊豆(柿田川湧水・十国峠) 熱川(城ヶ崎海岸) 参加費 会員 25,000円(予定)	
9/11(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
9/24(火)	定例夕食会	18:30開会 参加費 3,000円	会場：鯨割烹みどり 卓話未定

## 編集後記

この度、広報委員長を拝命した星野でございます。

1年間よろしくお願い致します。私は千葉市歯科医師会でも長い事、広報委員をしています(現在も)。歯科医師会での広報誌と「会報つきほし」は、外見や内容に違いがあるのは当然ですが、発行までの副委員長始め委員と役員の方々の協力無しには作り上げる事が出来ない事は、全く一緒です。浅学非才な私が、特に「会員企業訪問」を通して自分の人間としての「肥やし」となる事を楽しみにしています。原稿をお願いした際には、ご協力の程よろしくお願い致します。(星野)